

福祉と医療の学習会

テーマ：医療機関の情報冊子作り（第5回）

2006年6月17日（土）13：30～16：00

東金ふれあいセンター 視聴覚室

参加者 男性6名 女性1名 計7名

1. 今までの経過報告（資料参照）

今までの経過

2～4月・・・情報冊子に載せる内容を検討

5月 学習会で出た意見

情報冊子の情報の扱い方

- ・ 紙に印刷した情報は更新が難しいので、ホームページにも情報をアップして、いつでも更新できるようにすることも必要。ドクターも、情報更新をいつでも育てる会に送ることが出来る。この点について、ドクターの了承を得るべき。

ドクターや医師会への働きかけ方

- ・ お医者さんが伝えたいことと、患者さんが知りたいことを載せた冊子を作りたい
- ・ 私たちがドクターのPRのお手伝いをしたい
- ・ 5年前の情報（「あなたの街の医療情報」）のアップデートをします。
- ・ 先生方のコメントはそのまま載せます
- ・ 情報の更新はホームページとクローバーでフォローします。

地域医療・福祉について

- ・ 行政のサービスは予算をかけるが、具体的な効果が出て来ないことが多い。  
住民の必要にこたえられるサービスのメニューを、住民が作って、行政に提案する形が必要
- ・ 24時間365日、とにかく医療機関にかかることが出来る地域へ。  
そのために、 医療機関の休日を分散させる  
各医療機関が交代で夜間の診療日を必ず設ける
- ・ 医療機関同士の紹介をスムーズにするためのネットワーク作りが必要
- ・ 医者が努力をする地域へ

5月 定例会で出た意見

- ・ アンケート項目の中には、ワムネットなどインターネットのページ上に公開されている情報もある。不足部分だけを電話で個別に聞けば、窓口の人は答えてくれるは

ず。

- ・ 福岡地区の周囲の医療機関情報を今集めている。一軒ずつ電話で問い合わせている。特に有床のクリニックを探している。結果が出たら報告する予定。
- ・ いずれにせよ、得た情報をまとめて発表するときには許可を得る必要がある。

#### 育てる会以外の方からの意見

5月17日の懇談会では主に知的障害の方の意見を集めたので、身体や精神など、他の障害を持った方の声を集める機会を作ったかどうか。

#### 情報収集の方法

A アンケート用紙を郵送し、回収。答えてくれたところだけ載せる。

メリット：ある程度、こちらのスケジュールどおりに発行できる。

デメリット：協力を得られないドクターが出る可能性が高い。

費用の関係で、対象地域に限られる。

B 電話で個別に質問をし、まとめていく。

メリット：患者の問い合わせに対して回答する形なので、こちらが聞きたい内容について答えてくれる。

デメリット：人手と時間が必要。また、得た情報を情報紙やホームページで発表するためには許可が必要。労力がかかるので、対象地域に限られる。

C 製薬会社の営業や卸の方をお願いして、各開業医にアンケートを配り回収していただく。

メリット：山武郡市全域の内・外科をカバーできる。

趣旨を開業医の方々に理解していただいた上で、賛同していただきやすい。

デメリット：各開業医と営業・卸のかたとの関係を大切にしたいので、ドクターの理解と協力を得るために時間がかかる。

C案をさらに検討しました。

開業医の方との関係を作るために、ドクターたちが興味を持って読むペーパーを定期的にクリニックに届けてはどうか。

NPOほおずきは千葉市の開業医に「当直コム」と言うペーパーを配っている。目的は、ドクターのネットワークを広げ、病診連携を進めること。これとクローバーの連動が出来るのでは。

開業医の方が興味を持つ情報とはどんなものか、実際に開業医の方に聞いてみよう!

東金市の二人のドクターに聞いてみた(6月13日)

(ドクターからの意見)

- ・ 医学情報については飽和状態。

- ・ 県・山武郡市医師会からは、毎日のようにファックスが流れてきている。
- ・ 新聞や学会発表のダイジェスト版はあまり興味がない。
- ・ 今、地域でどのような動きがあるのかを知らせるニュースには興味がある。

(ドクターへの提案)

定期的にクローバーと当直コムを届けるので、内容に対する意見・感想をいただきたい。将来的には、ドクターが地域住民や行政に対して発信したい情報を掲載する。

(例 開業医から後方支援病院への紹介がスムーズに行くようなネットワークが必要  
住民はかかりつけ医を持つように 患者は軽症のうちに昼間の時間帯に受診を 等)

ドクターのOKをいただいた。

(今後の展開として)

- ・ 一ヵ月後には山武郡市内の内・外科の各診療所にクローバーと当直コムを配布
- ・ 医師会の中でも主要メンバーのドクターに、情報冊子のアンケート項目について相談する。
- ・ 「先生のご指導をいただいた」という形で、アンケートを山武郡市内のクリニックに配布・回収を行う。

目標

- 10月 アンケート実施
- 11月 取りまとめ
- 12月 製本 シンポジウムにて発表

2. 質問・意見交換

情報冊子作りについて

- ・ 開業医の先生方の診療科目について、内科・外科・小児科・産婦人科など一通りの科の先生方に満遍なく意見を聞く予定か  
とりあえず、協力していただけたら先生に意見を聞く。時間をかけて、先生方との関係を広げて行きたい。
- ・ いろいろなデータをもとに割り出すと、山武地域の診療所では患者の待ち時間は全国平均より長く、診察時間は短い。これを全国平均並みにしたいと言う思いは、開業医の方々もお持ちなのではないかと思う。いずれにせよ、開業医の方々の生の声がほしい。

山武地域医療センター基本計画について

- ・ 自分は医療センター木本家核に対して、利益誘導型の理論が先行していることに疑問を感じて、この会に参加している。センターの計画についての議論はこの会ですか。

今まで、学習会では情報冊子作りの話が中心だったが、今後ドクターとの良好な

関係を育てるためには時間がかかる。そのため、情報冊子作りの作業は小休止とする（10月アンケート実施、12月製本予定）。

学習会では、地域住民が望む福祉と医療のグランドデザインを作ることをもう一つのテーマに掲げている。今後はそちらの議論に入りたい。

- ・ 医療センター基本計画の中で議論されていないことを考えると、「医師を育てる地域」と「病診連携」だと思う。それぞれ、どのように進めていくのか、具体的に検討したい。
- ・ 地域医療を育てる会が考える、「地域医療のあり方」を地域に対し発信していくときではないか。様々な切り口から検討し、まとめたものを12月に発表したい。

### 3. 講演会のプログラム、役割分担

13:30	開会あいさつ
13:35~14:05	竜円さん 講演
14:05~14:35	土橋先生 講演
14:35~14:50	休憩 書籍の販売
14:50~15:50	パネルディスカッション及び、会場との意見交換 コーディネーター：太齋さん パネラー：土橋先生、竜円さん、鎗田さん、藤本
15:50	閉会あいさつ
16:00	閉会

### 4. 講演会資料 印刷と製本

100部

アンケート用紙、クローバーは当日挟み込む 大野さん持ち帰り